



「ぜひ傍聴を」

〔平成24年9月市議会〕

(木村 愛子さん)

3月11日、午後尋常でない大地震に遭い、そく外に出ると足佐方面の方々が「避難だ、避難だ」と大きい声で叫び西の方に走り去って行く。地盤では無線塔が建つ程堅い所の原町地区さえも大災難だったので鹿島地区、小高地区の方々は大変だったと思います。そして3月12日、一号機建屋付近で爆発音と共に白煙が上がると云う情報にて更に不安を抱く。あの災害より一年半。一日だって精神的苦痛より離れたことはありません。「カタ」と物音すると避難準備。本当に老女に取っては大変な生心地です。

しかしこの恐るべく災害の真只中、市長始め市職員、市議会議員、関係職員の方には自分の安全をかえり見ず怖さをはねのけての活動を頂き感謝感激でございます。そこで新聞、雑誌にて報道見ますが議会開催の折には一般質問を傍聴する事により更に良く理解でき早く把握出来るので皆様にもお薦めしたいです。そこで今、一番に脳裏に浮かぶのが今までは関心あっても多忙で傍聴出来なかったけど只今は一寸時間が取れそうと云う仮設住宅の方に傍聴して頂きたい。欲を云えば5・6人傍聴する方集まりましたよ。公用車出せないのなんて云って見たい夢さえあります。それから市よりアンケート用紙が配布される方があると思います。それは宝くじ同様市民3千人の中に選ばれた大変にラッキーな方なそうですので自分の判断にて答を書き込み提出して頂きたいそうです。

市では纏めて議会で真剣に審議いたし一日も早い復興、復旧の土台と云うか力にすると聴いて来ました。是非一度傍聴と云う勉強いたし住み良い南相馬市にいたしたいです。

今大震災・原発事故からの復興とは比べようもないが、当時との違いは、政治を動かすことを含めて自らの意志で立ち上がる事が可能なことだ。その後押しができる議会にした
 渡部 寛一

12月の定例会(予定)

- 11月30日(金)
本会議…会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、決算審査特別委員長報告(質疑、討論、表決)、正副議長の辞職及び選挙、議会運営委員及び各常任委員の選任
- 12月3日(月)
本会議…議案の提出及び説明
- 12月7日(金)・10日(月)・11日(火)
本会議…一般質問
- 12月13日(木)
本会議…議案に対する質疑、委員会付託
- 12月14日(金)
委員会…総務、文教福祉、建設経済常任委員会
- 12月19日(水)
委員会…委員長報告(質疑・討論・表決)

※この日程は変更されることがあります。
議会を傍聴する際には、日程をご確認下さい。

●問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

市議会ホームページ・本会議インターネット中継をご覧下さい

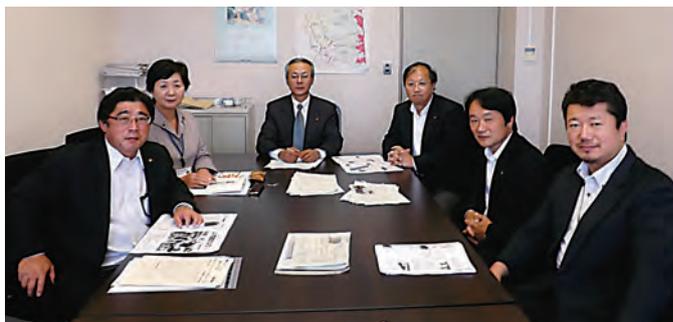
市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録(本会議)などを掲載していますので、ご覧下さい。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信(本会議のおおむね5日後)でご覧いただけます。あわせてご覧ください。

下記のアドレスへ、アクセスしてみてください。

南相馬市ホームページ <http://www.city.minamisoma.lg.jp/>

市議会だより編集委員会



(左より) 副委員長 奥村 健郎、田中 京子、渡部 寛一
委員長 鈴木 昌一、田中 一正、大山 弘一

編集後記

現編集委員メンバーでの編集は、今号が最後になります。8回の発行中、7回の発行は大震災と原発事故への対応に追われた議会報告が中心になりました。

多くの市民が避難し、避難し続けている中で、市政対応と議会の活動を何とか届けようと努力しました。でも、うまく伝わりきれいていない自戒の念もあります。

1611年に大津波が東北・北海道を襲い、相馬領では死者700人の記録があることを最近知りました。戦国時代は終わったが、まだ疲弊の最中であつたはず。水田面積の半分が海水に侵された民は、辛苦の復旧復興に取り組まざるを得なかったでしょう。最後の手段であつた逃散(ちようさん)は許されませんでした。

今大震災・原発事故からの復興とは比べようもないが、当時との違いは、政治を動かすことを含めて自らの意志で立ち上がる事が可能なことだ。その後押しができる議会にした
 渡部 寛一